

1. 教育・保育理念

愛がいっぱい 笑顔あふれるこども園

2. 教育・保育基本方針

- ・常に利用者の立場に立ってニーズに応え、サービスの向上に努めます
- ・一人一人の人格を尊重し、互いの信頼関係をよりよく構築します
- ・地域・自然・人のかかわりの中で豊かな人間性の育成をめざします

3. 重点目標

- ・『やってみたい』いきいきと活動に取り組むこども

4. 研究テーマ

『かがやく 城北のこども』

～やってみたい！こどもの気持ちを輝かせよう～

5. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
子どもの発達段階や興味関心に合わせた教育内容をバランスよく取り入れ、健やかな成長を支援する。	B	子ども一人ひとりの発達や興味を捉えながら、遊びや保育内容を工夫することを大切にしている。各クラスで発達段階に応じた活動を設定し、子どもの興味に沿った経験を提供しているが、環境の継続的な再構築や個別対応の充実が課題となっている。日々の遊びや行事を通じて成長を支援し、子どもの主体性を尊重しながら、興味関心を深める保育を目指している。
一人ひとりの発達状況を把握し、遊びを通して様々な経験の積み重ねができるよう環境構成や教材の工夫も積極的に行なう。	B	子どもの発達や興味に応じた遊びや環境を提供することを大切にしているが、年間を通じて同じ遊びが多く、環境構成の計画が不足していると感じることがある。活動の導入や声掛けを工夫し、子どもの探求心を引き出すことに注力しているが、担任間の連携や振り返りが十分でない点が課題。個々の発達状況を把握しながら試行錯誤し、遊びの工夫や環境構成の改善を続けている。
子どもからのしぐさや言葉を受け止め、気持ちや言葉が通じ合う心地よさ、安心感が持てる関係作りに努めていく。	B	子どもたちが安心して過ごせるよう、日々の関わりを大切にしながら保育を行っている。しかし、忙しさの中で大人中心になってしまう場面もあり、子ども主体の環境づくりをより意識する必要がある。一人ひとりの発達や思いを受け止めながら、言葉かけやスキンシップを通して信頼関係を築いている。職員間の情報共有を密にし、子どもの様子を把握しながら適切な関わりを心がけている。また、保護者との関係性も重視し、家庭との連携を図りながら子どもが安心できる環境づくりに努めている。

7. 学校関係者評価

子どもの発達段階に合わせた内容の活動や体験ができるよう教育内容を工夫されていると思います。  
 子ども一人ひとりの発達や興味・関心に沿った個別対応の充実には人的・経済的に限界があると思われま  
 地域との連携については、可能な限り参加・協力していきたいと思  
 自己評価全般について、適切・妥当に評価されていると考えま

◎項目及び項目4の評価結果の表示方法

A	十分達成されている	B	達成されている
C	取り組まれているが、成果は十分でない	D	取組が不十分である

3	①安心して好きな遊びや興味のある遊びを友だちや保育教諭と楽しむ。 ②進んで挨拶をするなど生活に必要な身の回りのことを身に付けていく。 4 ①「やってみたい」という意欲を大切に、失敗しても挑戦する気持ちを育む ②個々に応じた好奇心や探求心を認め、興味や関心に応じてあそびや活動が発展できる環境を整えていく。
---	---

6. 総合的な評価結果の概要

結果	理由
B	・保護者との連絡を密にすることを心がけ、連絡ノートその他にコドモンアプリを利用するなど園の様子を知らせることができた。また、核家族世帯が多いこともあり育児の不安を聞く中で、食べることへの悩みが多く聞かれた。個別懇談、参観日だけでなく、今年度は給食参観を取り入れ啓発にも繋がった。 ・地域との連携としてグランドゴルフだけではなく、節目の行事参列、新年こども会、球根植えなど子ども達と遊びや活動を楽しむ機会は今後も継続していきたい。 ・毎朝の挨拶運動、毎日のさくらちゃんねる放送などを取り入れながら、自分の思いを言える場面を作り自己発揮ができる環境づくりには努めることができた。 ・職員園内研修では、今年度より外部講師を招き、子どもとの関わり方や育ちを学ぶ研修を行うことができた。しかし、遊びの発展性、継続した遊びの充実するための環境づくり、主体的な活動を促すことの充実には課題があり今後の研究努

学校関係者評価者	地域住民
----------	------